

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日: 2023 年1月30日

事業所名: 多機能型 西舞子音楽堂児童デイサービス・キッズ西舞子音楽堂発達支援事業所

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に応じた活動スペースの確保はできています。また利用児童の状況に応じてスペースを区切る事も行っています。	○…14 (子どもが楽しく安全に遊べるような空間になっていると思います。)	今後も引き続き、安全で活動に十分なスペースを確保して療育出来るように配慮してまいります。
	2 職員の適切な配置	基準に沿った人員配置を行っています。	○…10 ×…0 △…1 ?…3	個別対応が必要な場合には増員して対応し、引き続き状況に応じた適切な人員配置で対応していきます。保護者の方にも安心してご利用いただけるよう、ご説明をしております。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	エレベーターの設置があります。トイレは最大3カ所使用可能で階段には手すりが設置してあります。	○…11(子どもがパッと見てすぐ何があるかなどとても分かりやすく配置されていると思います。) ×…0 △…1 ?…2	利用者にわかりやすい配慮をさらに行い、今後も継続的に保護者の方への情報伝達にも努め、環境を整備に努めてまいります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の出勤時・昼食時・おやつ時・終業時に換気、アルコール・次亜塩素酸でのテーブル等の消毒を実施しています。	○…12 (子どもは落ち着く空間だと言っていました。) ×…0 △…0 ?…2	今後も引き続き清潔で安全な環境整備に努め、感染症対策も確実に実施して行きます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員全体で業務の目標や振り返りを日々、随時行っています。問題点・課題点などに気づけるよう各職員が意識を持って業務に取り組んでいます。		今後も継続して日々のミーティングを実施し、お互いの意見や提案などが行いやすい環境に努め、利用者へのより良い支援に結び付くように努めてまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	他事業所など第三者の方の見学等で意見が得られる機会を持ち、業務改善すべき点は改善するようになっています。		今後も外部評価の機会を持ち、業務のより良い実施・改善に努めていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部・外部研修へ参加する機会を持つと共に、研修参加後は職員全体への内容の共有を行うようにしている。		必要な研修を継続実施すると共に、各職員の特長、専門性にも合わせた研修を更に検討し、実践します。
適切な支援の担	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	適切な時期に保護者との面談の機会を持ち、保護者や子どもの発達上のニーズや課題を考慮した計画の作成を行うようにしています。	○…100% ×…0 △…0 ?…0 子どもの様子や面談での困り事やニーズのお話などをしっかり汲み取って支援目標を設定して下さっています。子どもの伸び(成長)を感じます。子どものことをよく見ていただき話し合いの場でも子どものこれからの課題等をどう取り組んでいかを一緒に考えていただきました。音楽堂さんに通い始めて、子どももできることが増えてきて、本人もできないことにもどかしさを感じていましたが、できる喜びを知って生き生きしている様に見えます。	今後も引き続き、利用者及び保護者の方の具体的なニーズに合った計画作成を専門職の視点も加味し、合意を得た上で作成するように努めます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	各子どもの状況に応じて個別と集団の活動を組み合わせてサービスの計画を行っています。		個別活動の内容、集団活動の内容等、組み合わせた計画書の作成を継続して作成に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児童発達支援計画書には各児童に合わせた内容で、療育・生活面、音楽面、製作面などの項目で適切な支援内容を記載しています。		今後も継続して、各児童に応じた必要な支援の設定、具体的な内容を作成いたします。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	児童発達支援計画書及び放課後等デイサービスの支援計画書の内容に基づいた支援が実施できるように努めています。	○…14 ×…0 △…0 ?…0	今後も継続して、各児童の支援計画書の内容に基づいた支援を行うように努め、日々支援の振り返りを職員間で実施していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	児童発達支援管理責任者を中心に、関係する全職員の意見を集約して活動プログラムの立案や計画プランの作成を行っています。		今後も継続して、職員間の連携の元でチーム全体で活動プログラムを立てていきたいと考えています。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日には翌日の学校生活によりスムーズにつながる様な配慮を、長期休暇には、平日では取り組めない様なプログラムや落ち着いた取り組みをもたらせるように実施しています。	○…10 ×…0 △…1 ?…3	今後も継続して、その日の状況に応じたきめ細やかな支援をまいります。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用する児童の関心や発達段階などに応じて様々な活動プログラムが組み込まれるように、また目標に沿ったプログラムになるような工夫を行っています。		今後も画一的な活動にならないように工夫をするとともに、職員間でも様々な提案やアイデアを共有できるようにまいります。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	児童の来所前に、その日の提供すべき療育内容などを各々の職員で確認しています。		より利用児童の予定を明確にし、児童毎に必要な支援に対しての支援内容が分かるよう掲示するなど、より担当・分担した活動に取り組めるように努めます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	ケース記録を記載するにあたって、職員間で支援の実施状況や振り返りなど、その日の各児童の変化や様子も含めて共有できるように話し合いの時間を取るようにしています。		よりそれぞれの児童の目標やねらいに即した支援につながるよう、振り返りを確実にを行い、情報の共有に努めていきます。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	ITを活用しての情報の共有を行い、支援の検証はモニタリング時のカンファレンスなどを通して改善・検証を実施しています。		全事業所が共有して見られるケース記録システム等、ITを活用して情報を入力し、音楽堂内併用先事業所間でも、リアルタイムに他事業所での様子等が把握できるネットワーク構築がなされているので、今後も継続して実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し		今後も、年2回(6ヶ月に1度)を基本に、モニタリング・個別支援計画書の作成を行い、支援の見直しを実施し、また、その進捗を関係事業所間で共有管理していきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画		可能な限り管理者と支援員が出席、又はオンライン等の活用もして参画していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児童無し。	該当児童のサービス利用時には適切な対応を実施します。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児童無し。	該当児童のサービス利用時には適切な対応を実施します。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	要望・あるいは必要に応じた幼稚園や保育所、学校やスクールワーカーとの情報共有・情報提供等を行い、連携を取っています。	今後も引き続き、家庭・学校・施設間で連携を取り、支援内容の共有をしつつ、より充実した支援が可能となる様、継続して務めていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	ニーズに応じて、個人情報保護の観点も遵守しつつ、情報の提供を行っています。	担当者会議等、必要に応じて出席し、利用児の利益が優先されるように配慮しつつ情報共有を行っています。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センターなどの専門機関との連携を必要に応じて実施しています。	専門機関との連携では、今後も適切な支援に結び付くような関係を維持して継続してまいります。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナ禍の状況も鑑み、実施していません。	○…9 ×…2 △…1 ?…2 コロナ以前には、毎年神戸市西区社会福祉協議会主催の福祉フェアイベント等に参加をしていました。今後再開あれば参加し、また他の地域のイベントにも参加を検討します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	クリスマスコンサート時等、季節の行事を中心に地域の高齢者ボランティアの方を招致など行っています。	○…9 ×…2 △…1 ?…2	コロナ禍の収束時へ向けて、地域とのコミュニケーションの場の創出を検討・実現して行きます。	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	随時、支援内容を説明し、また利用者負担額等は書面においても説明しています。	○…14 ×…0 △…0 ?…0	引き続き、より丁寧な説明とご理解頂けるような説明を心がけていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書に記載した内容を提示しつつ分かりやすい説明を行っています。	○…14 ×…0 △…0 ?…0	今後もより丁寧で分かりやすい説明に努め、保護者の方とのより良い連携を行っていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングのような訓練は実施していません。保護者の方との日々の連携を通して、必要に応じたご相談などに対応し、お子さんのより良い支援につながるよう意識しています。	○…9 ×…1 △…2 ?…2	定期的実施している保護者の方との面談を通して、お困りごとをお聞きしたりなどのご相談には今後も応じていきたいと思っています。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳、公式LINE等で、来所時の様子を伝達し、問題・課題等がある場合は、電話連絡なども行い共通理解に努めています。	○…14 ×…0 △…0 ?…0 ・困っていることなど相談しやすいと思います。 ・子どもの状況変化など相談したい時には随時話を聞いていただけますし、内容を受けての今後の支援方法も変更して頂いたり、事故に対応していただいで助かります。	今後も引き続き、送迎時・面接時、その他必要があれば保護者の方へ電話連絡等を行うことを通して保護者様との情報共有をしていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて随時面談や電話等で相談を受けています。可能な限りの助言等も行っています。	○…14 ×…0 △…0 ?…0 ・モニタリング毎に面接の機会をいただいて、子どもの活動の様子などを詳しく教えていただけるのがとても参考になります。	基本的にはモニタリングを通してご相談を受け、また必要に応じて個別の相談対応を行います。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	イベントなどを通して保護者間の交流の機会をもたらすようにしています。	○…5 ×…2 △…3 ?…4 ・クリスマス会等で、交流可能ですが私は積極的に交流していません。	今後、必要に応じて保護者会の開催についても検討したいと思います。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約書に苦情相談窓口を明記して対応。また直接、苦情があった際は、迅速な対応を心掛けています。	○…10 ×…0 △…1 ?…3	契約時に苦情窓口の説明を行うと共に、当施設への苦情の連絡があれば、速やかに対応していきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々にあったコミュニケーションで意思の疎通を行い、実施しています。	○…10 ×…0 △…3 ?…1 ・子どもの状況に合わせて臨機応変に対応していただいています。	児童や保護者の方の特性に応じた関わり方をより配慮できるように努めて行きます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	書面で配布、ホームページ、SNSで行事予定を更新している。連絡帳、公式LINEにも必要に応じて記載しています。	○…9 ×…1 △…3 ?…1 ・公式LINEにタイムラインの更新なく、活動中の写真を送ってもらうのも最近はないです。	ご要望に応えられるよう、写真等で活動状況がお伝えできるように努めていきたいと思ひます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報のファイル資料は、鍵付きロッカーにて保管しています。	○…13 ×…0 △…0 ?…1	個人ファイルは鍵の掛かる棚に保管し、管理業務に携わる職員以外の他者の閲覧を制限するなど、十分な配慮に努めます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアル作成、更新を実施し、緊急時の対策に取り組んでいます。	○…8 ×…1 △…1 ?…4	各種マニュアルの策定を行っていることを、保護者の方にも周知することに努めてまいります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回、避難訓練(火災時・地震災害時)を実施しています。	○…7 ×…1 △…0 ?…6	年2回、必ず児童と職員で避難訓練(地震・火事)実施し緊急時の避難の大切さを説明していますが、ご父兄の方への実施状況のご理解にも努めていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	全事業所で、年1回、虐待防止研修を実施しています。		今後も、年1回必ず虐待防止研修を行い、虐待への取り組みと職員間での意見を共有し適切な対応について話し合いを行っていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当事例無し。		必要性が生じた際は、ガイドラインに基づき適切な処置を実施します。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者から面談時にアレルギーの有無は確認しています。医師の指示書が必要な該当者のご利用はありません。		今後食物アレルギーの児童が通所される場合には、速やかにご家族・医師の指示の元、対応していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事故等に対して速やかにヒヤリハット報告書を作成し、職員間で情報の共有をし防止策の検討を行っています。		今後も、ヒヤリハットは職員間で常に共有し、同じような事案が起こらないように再発防止に努めていきます。